

2023年6月15日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

5月度「スカパー！サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の5月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～ 長岡 秀樹 (東京ヤクルトスワローズ) 初受賞

長岡選手は、5月5日(金)神宮球場で行われた対横浜DeNAベイスターズ6回戦、8対9の1点ビハインドで迎えた9回裏二死一塁の場面で右翼席へ劇的なサヨナラ2点本塁打を放った。

東京ヤクルト・高橋投手、横浜DeNA・今永投手のWBC日本代表投手同士の投げ合いに注目が集まった一戦は、予想外の乱打戦となった。東京ヤクルトは2点を追う3回裏に、村上選手が左翼席に2点本塁打を放ち同点に追いつく。しかし、直後の4回表に、横浜DeNA・佐野選手の3点本塁打で勝ち越しを許すなど7回までに5本の本塁打を浴び、8回表を終えて4対9と大幅リードを許す。反撃したい東京ヤクルトは8回裏、濱田選手のこの日2本目となる3点本塁打などで1点差に迫る。

8対9で迎えた9回裏。二死から、オスナ選手が左前安打で出塁し、打席にはこの試合2安打の長岡選手。カウント2-0からの3球目を振り抜くと、打球は右翼席に飛び込む逆転サヨナラ2点本塁打となった。両軍合わせ11本の本塁打が飛びかった空中戦は、長岡選手が自身初となるサヨナラ本塁打で締めくくった。

東京ヤクルトからのスカパー！サヨナラ賞受賞は、2022年9、10月度の丸山和選手以来となり、長岡選手は初の受賞となった。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～ 紅林 弘太郎 (オリックス・バファローズ) 初受賞

紅林選手は5月24日(水)ほっともっと神戸で行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス10回戦、4対5の1点ビハインドで迎えた9回裏一死一塁の場面で左翼席へサヨナラ2点本塁打を放った。

オリックスはこの試合、2点を追う4回に4番・森選手の適時二塁打、6番・若月選手のスクイズで同点に追いつくものの、中継ぎ陣が踏ん張り切れず7回表に3点の勝ち越しを許してしまう。しかし、8回裏に3番・中川圭選手の2点本塁打で1点差とすると、9回表にはワゲスパック投手が東北楽天の攻撃を打者3人でしっかりと抑え、最後の攻撃に望みを託す。

迎えた9回裏、マウンドには東北楽天守護神の松井裕投手。一死後、代打の大城選手が出塁すると、打席には紅林選手。カウント2-1からの4球目、甘く入った変化球をジャストミートすると、打球は夜空に高く舞い上がり、そのまま左翼席へ。この打席まで13打数無安打と苦しんでいた紅林選手は、土壇場で劇的な逆転サヨナラ2点本塁打という最高の結果を残した。

紅林選手は21歳3か月。自身にとって初めてのサヨナラ本塁打は、阪急ブレーブス時代に矢野清選手が記録した、サヨナラ本塁打の球団最年少記録である21歳9か月を更新する一発となった。

紅林選手はスカパー！サヨナラ賞初受賞となる。

月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として2012年に制定されました。スカパー！は、2006年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の1球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと2009年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (横浜DeNA)	田中 賢介 (北海道日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (北海道日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島東洋)	柘田 慎太郎 (東北楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (東北楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (千葉ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (東京ヤクルト)	B.レアード (北海道日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (東京ヤクルト)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島東洋)	嶋 基宏 (東北楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
9月度	石原 慶幸 (広島東洋)	片岡 治大 (埼玉西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	B.レアード (北海道日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (横浜DeNA)	B.レアード (北海道日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (埼玉西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (千葉ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島東洋)	A.ジョーンズ (東北楽天)
5月度	梵 英心 (広島東洋)	加藤 翔平 (千葉ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (横浜DeNA)	今宮 健太 (福岡ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (埼玉西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (千葉ロッテ)
9月度	T. ブランコ (横浜DeNA)	松井 稼頭央 (東北楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鵜久森 淳志 (東京ヤクルト)	聖澤 諒 (東北楽天)
5月度	荒木 貴裕 (東京ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (福岡ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (東京ヤクルト)	J. アマダー (東北楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島東洋)	A.デスパイネ (福岡ソフトバンク)



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
5月度	山下 幸輝 (横浜DeNA)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
6月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	上林 誠知 (福岡ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島東洋)	山下 斐紹 (東北楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島東洋)	Y.グラシアル (福岡ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (東京ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (東京ヤクルト)	中田 翔 (北海道日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (東北楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (埼玉西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (千葉ロッテ)
9月度	N. ソト (横浜DeNA)	E. メヒア (埼玉西武)

2020年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
6、7月度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	A. ロドリゲス (オリックス)
8月度	上本 崇司 (広島東洋)	山川 穂高 (埼玉西武)
9月度	吉川 尚輝 (巨人)	茂木 栄五郎 (東北楽天)
10、11月度	高橋 周平 (中日)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)

2021年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	亀井 善行 (巨人)	岡 大海 (千葉ロッテ)
5月度	岡本 和真 (巨人)	該当試合無し
6月度	大和 (横浜DeNA)	T-岡田 (オリックス)
7、8月度	大山 悠輔 (阪神)	高濱 祐仁 (北海道日本ハム)
9月度	坂倉 将吾 (広島東洋)	B. レアード (千葉ロッテ)
10、11月度	山田 哲人 (東京ヤクルト)	岡 大海 (千葉ロッテ)

2022年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	西川 龍馬 (広島東洋)	浅村 栄斗 (東北楽天)
5月度	山崎 晃大朗 (東京ヤクルト)	栗山 巧 (埼玉西武)
6月度	宇草 孔基 (広島東洋)	島内 宏明 (東北楽天)
7月度	R. マクブルーム (広島東洋)	高部 瑛斗 (千葉ロッテ)
8月度	秋山 翔吾 (広島東洋)	近藤 健介 (北海道日本ハム)
9、10月度	丸山 和郁 (東京ヤクルト)	宗 佑磨 (オリックス)

2023年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	秋山 翔吾 (広島東洋)	清宮 幸太郎 (北海道日本ハム)
5月度	長岡 秀樹 (東京ヤクルト)	紅林 弘太郎 (オリックス)
6月度		
7月度		
8月度		
9、10月度		



(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (千葉ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島東洋)	小久保 裕紀 (福岡ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (北海道日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (埼玉西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (福岡ソフトバンク)
2015年度	雄平 (東京ヤクルト)	柳田 悠岐 (福岡ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島東洋)	吉村 裕基 (福岡ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (横浜DeNA)	栗山 巧 (埼玉西武)
2018年度	下水流 昂 (広島東洋)	森 友哉 (埼玉西武)
2019年度	高山 俊 (阪神)	鈴木 大地 (千葉ロッテ)
2020年度	西浦 直亨 (東京ヤクルト)	井上 晴哉 (千葉ロッテ)
2021年度	坂倉 将吾 (広島東洋)	岡 大海 (千葉ロッテ)
2022年度	丸山 和郁 (東京ヤクルト)	宗 佑磨 (オリックス)